

平成20年度会計決算報告 (単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 予算額, 実績額, 摘要. Includes sub-sections for special accounts.

Table for special accounts: 1. 拠点施設運営協力積立金特別会計, 2. 県民交流広場事業特別会計.

平成21年度の事業計画および会計予算については、平成20年度の実績とほぼ同様のため紙面の都合により掲載を省略しました。

「ボランティアの「活動者登録届」提出による支出明細表」

Table listing expenses for volunteer registration, categorized by organization like 宝塚市社会福祉協議会 and 兵庫県阪神北県民局.

(3) 防災・防犯推進事業
当校区は、34%超の宝塚一番の高齢化率となった。安全で快適なまちづくりには住民の防災意識の高揚と地域における自主的な防災活動として、1/16(金)に地域防災訓練を行った。防犯は、校区全域に防犯の立て看板「安全・安心の街づくり、空き巣・車上狙いを許さない」をアルミ複合版に印刷して、校区全域に活用して取付け、立て看板として完成した。校区全体の活動から、防犯運動を展開し、犯罪のない明るい住みよいまちづくりを目指した。

(2) 子どもの健全育成・三世交代流事業
自治会、老人会、福祉委員などが共催して子ども・親・高齢者のふれあいを通して連帯意識を醸成している。岩倉山に登り植物等の観察、野外で三世代のふれあい事業を実施し、子どもたちの育成を図っている。クリスマス会・ハロウィン・児童歓送迎会・子ども茶室・児童初盆・伝統文化といけばな子ども教室・子どもと遊ぶうぱりベキュー・子ども・里山ハイキング自然観察などが活発に行われた。

1面から続く
(9) 「ゆずり葉まつり」が10/18(土)開催され、地域の活性化と子供・高齢者、多世代の交流の場として、学校・家庭・地域が一体となった事業を行った。

逆瀬台小学校の運動会が9/27(土)に行われ「玉いれ」に20名が参加した。「まちづくり地域計画」の見直しと提出は、平成15年12月9日(火)「まちづくり地域計画」の提案書を提出し、単なる計画に終わらせないためにフォローを続けて計画の実現を図っている。役員会での報告、②10/5(日)「第4次宝塚市総合計画後期基本計画」の見直し反映、③12/7(日)「第5次総合計画」への反映をするため、④1/17(土)「まちづくり計画進行管理チェックシート」を議論し、これら役員会での意見・提案・審議の結果、第5次宝塚市総合計画に向けて基礎資料となる「同チェックシート」を、⑥3/1付でまとめ役員19名・委員16名に対し配布、⑦これを3/15(日)「まちづくり地域計画」の決定として4/1付広報紙「ゆずり葉だより」に掲載した。

発行。春号は4月に発行していたが、発行が全面改正され4月1日施行のため5月になった。5月春・第51号、7月夏・第52号、10月秋・第53号、1月新春・第54号で発行された。配布は、年度当初に1年間の配布日時を設定し、校区を網羅する6自治会長、8マンション理事長又は担当者がコミュニティルームで引き取り、全戸配布した。また、外部配布は、行政関係、小・中・高の各学校、中央図書館、西公民館、エデンの園、てくてく、デイサービスセンター、希望する市会議員等に配布した。編集会議を21回開催し、デジタルによる写真撮影を中心に編集した。各所で出来た原稿はインターネットを活用し、コミュニティ準備室に送信し、集まった原稿をB4版にして1/4面を統一し原稿を作成した。出来上がった原稿を印刷業者に渡し印刷のみを外注した。

役員会の議事録を速やかに作成し、役員19名と委員16名に配布している。レジメや議事録は紙ベースとともにインターネットで情報公開すると同時にデータストックをしている。
(1) 地域交流事業
8マンション管理組合は「白瀬川両岸集合住宅協議会」を結成し、毎月第3日曜日に代議員が集まり、より一層のコミュニティを築くことを目的として、協議会を立ち上げた。マンション集会所(室)を持ち回りして毎月場所換えをし、交流を促進しながら課題提起を図っている。交流事業としてシネマシアター上映会を毎月開催し、年末には800人が参加する餅つき大会を行った。一方、伝統的な組織力のある自治会や老人会、福祉委員などの活発な事業が行われ、地域住民の交流と親睦を図りながら、文化の高いまちづくりを行ってきた。毎年恒例の桜まつり・夏祭り・文化祭(音楽会、展覧会、お茶会)などである。

(6) 健康・福祉ネットワーク事業
健康で安心して住み慣れた地域で暮らし続け、健やかでやすらぎに満ちた暮らしと生涯にわたる健康づくりを推進する。また高齢者の状況を把握し、福祉活動及び災害時の救助活動に役立つ。一方宝塚市健康づくり推進員の活動母体として健康づくり推進活動会議を設立した。ゆずり葉シニアサロン・健康カラオケサロン・ふれあい喫茶・健康教養講座・敬老の日お祝い訪問・歌唱クラブ・手芸サークル・ウクレレの会・マージャン同好会・卓球・太極拳・健康リズム体操などを活発に行っている。

活動局活動事業

合版に印刷して、校区全域にある12カ所の広報板の柱を活用して取付け、立て看板として完成した。校区全体の活動から、防犯運動を展開し、犯罪のない明るい住みよいまちづくりを目指した。

書記委員

役員会の議事録を速やかに作成し、役員19名と委員16名に配布している。レジメや議事録は紙ベースとともにインターネットで情報公開すると同時にデータストックをしている。

経理委員

支払の請求があれば、出納は書類を検証して迅速・正確に行った。補助金の申請と報告書は、行政マニュアルに従って、説明責任が果たせるよう作成し、提出した。帳簿類はウインドウズ・エクセルを使って、入力データから自動的に帳票作成ができるようにした。

施設委員

活動拠点「ゆずり葉コミュニティルーム」の利用状況は、延873時間/年、延316回/年であった。利用時間帯については、スポーツクラブが毎週の日曜・火曜・木曜・金曜・土曜日、と第1月曜と第3水曜日の午後を使用している。拠点施設を有効に活用するため、毎日の午前と夜間の利用促進を図る必要がある。それには、逆瀬台デイサービスセンターの入口ゲートの確保と小学校に接する水路上に駐車場の新設及び拠点施設の入口までの照明器具の取付けが必要である。

広報委員

(10) 例年通り広報紙「ゆずり葉だより」を年4回、全面カラー刷り、B4版4面で